

京都大学文学部哲学研究室紀要

# PROSPECTUS

No. 2 (1999)

- 
- 符号化された概念としての言葉……………増田玲一郎 (12)  
概念役割と情報伝達
- 言語と主体……………柴田 健志 (27)  
時枝誠記のソーシャル批判再考
- G. ギヨームの冠詞論 ……………柴田 健志 (43)  
フランス語の冠詞に関するギヨーム理論の展開と  
その哲学的意味について
- 感情は虚構か? ……………山田 健二 (58)
- 悲劇をめぐって——行為と判断力……………樋口 善郎 (67)
- 映画の中の現実に関する一考察……………浜岡 剛 (82)  
——バスター・キートン  
『探偵学入門』におけるイリュージョン——
- 哲学よさらば? ……………伊藤 邦武 (96)  
——和田純夫『20世紀の自然観革命』を読んで——